



2003年05月27日

**チャリティイベント第10回「Cinema Against AIDS」:
リュック ベッソン監督が3万5千米ドルでニュービートル カプリオレを獲得**

5月23日(金)、ウォルフスブルグ/カンヌ発 -

22日(木)夜、恒例となったエイズ チャリティイベント第10回「Cinema Against AIDS」がミュージャン フランスで開催されました。その晩のクライマックス、ヴェロニカ フェレスが司会をつとめるチャリティオークションにて、「ジャンヌ ダルク」、「レオン」、「フィフス エLEMENT」、「ニキータ」など数多くの人気映画で、世界的注目を浴びているフランス人映画監督リュック ベッソンが、フォルクスワーゲンの提供によるニュービートル カプリオレ* を3万5千米ドルで競り落としました。このオークションには、エルトン ジョン、モニカ セレス、ハーベイ ヴァインスタイン、ライオネル リッチーやイマン等、多数のセレブリティが参加しました。フォルクスワーゲンはこのチャリティイベントにニュービートル カプリオレを提供した他、大型高級セダン フェートンでシャトルサービスを行い、イベントをサポートしました。

* ニュービートルカプリオレ:この夏、日本市場導入予定。

「米国エイズ研究基金財団(amfAR)」の提案で1993年からカンヌ国際映画祭の一環として行われてきたこのチャリティイベントは、エイズ研究のために、これまで合計1200万米ドルの募金を行ってきました。女優エリサベス テラーは、創設委員であると同時に、現在も名誉委員長を勤めています。「amfAR」は治療、予防、そして啓蒙により、ボーダーレスな脅威であるエイズにグローバルに立ち向かっています。

フォルクスワーゲン グループは以前より、エイズとの闘いに取り組んで参りました。フォルクスワーゲン オブ サウス アフリカを始め、フォルクスワーゲンド ブラジルやフォルクスワーゲン デ メヒコも積極的な支援活動を行い、この病気と闘っています。フォルクスワーゲン オブ サウス アフリカは昨年初めに、フォルクスワーゲンのユイテンヘーグ工場で「GTZ (Gesellschaft für technische Zusammenarbeit)」(ドイツ政府による技術協会)と協力し、啓蒙、予防、治療を含む包括的なHIV/エイズ プログラムを開始しました。フォルクスワーゲンド ブラジルも1986年からエイズ対策に取り組み始め、1999年に「Award for Business Excellence in response to HIV/AIDS」賞を受賞しました。

「米国エイズ研究基金財団(amfAR)」の詳細に関しては、www.amfar.org をご参照ください。

広報写真はwww.volkswagen-presse.de (ID: Cinema; Password: Gala; 6月13日まで有効)からご使用頂けます。

**お問い合わせ
先:**

Volkswagen Communications

フォルクスワーゲンジャパン 広報部 企業広報

Christiane Krebs-
Hartmann

池畑 浩

ドロテア ガストナー

tel.+49-5361-925491

tel. 03-5575-7347

tel. 03-5575-7364